みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

7．国際研究統括室

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-09-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009841

7 国際研究統括室

設置目的

国際研究統括室は、新領域開拓のための本館の共同利用型研究体制の基盤整備及び国際・国内研究戦略を立案し統括することを目的として、2017年４月に設置された。

具体的には、研究活動の戦略策定、共同研究・共同利用体制の整備、学術交流協定（国内外）締結方針の策定と締結、研究動向調査、外部資金に関する情報収集と情報提供など、本館がより戦略的かつ組織的に国際的な研究連携や共同研究を推進していくために必要な活動を行っている。

2020年度活動報告

(1) 国内の研究機関との協定について、2021年３月に金沢美術工芸大学との間で協定を締結した。

(2) 海外の研究機関との協定について、2020年12月にロシア民族学博物館との協定、2021年３月に客家委員会客家文化発展センター及び交通大学客家文化学院との三者間協定を終了した。また、台湾・順益台湾原住民博物館、ペルー・国立サン・マルコス大学、英国・エジンバラ大学との協定について、これまでの交流状況及び今後の交流計画について審議を行い、その更新を行った。

(3) 外国人研究員（客員）について、本館の特別研究プロジェクトに関連する研究を行い、その推進に貢献していただく研究者１名を国内外に広く公募し、採用した。

(4) 国際学術交流の面では、本館と関わりのある海外の研究者及び本館と関連の深い国内外の研究機関を「民博フェローズ」として位置づけ、研究者ネットワークを構築しており、2020年度末の民博フェローズは92ヵ国・地域、約1,100件が登録されている。

(5) 『研究年報』の制作スケジュールについて、今後の在り方について検討を行った。